

— 特 許 記 事 —

最近の製鐵鋼業界に於ける發明

特許出願公告 (昭和 29—10—15)

- 公告番号 發明の名称 (發明者) 出願人
- 昭 29—6556 鉄鋼の表面処理法 (岡本 正三) 同人
 空気よりもさらに酸化性に富むガス気圏中に適量のシアン化合物を置くか又は空気気圏中に適量のシアン化合物と酸化剤とを置いた密閉容器を加熱して得るシアンの変成ガスにより表面硬化を行う方法
- 昭 29—6557 鑄鉄用電弧熔接棒 (中山友芳外 2 名) 三菱造株式会社
 高炭素高珪素の鑄鉄心線の外周に活性炭素を主体とする保温材とカルシウムシリサイドとを交互にほぼ等量を塗布したもの。

特許出願公告 (昭和 29—10—20)

- 昭 29—6703 炭素煉瓦による熔鋳炉の炉底及び湯溜部の築造法
 炭素煉瓦にて特殊な異型煉瓦を作つてこれを組合せ築造する方法
- 昭 29—6704 螢石、鉄鋳石を用い塩基性転炉によつて平炉銑を吹鍊良鋼を得る方法
 塩基性転炉によつて平炉銑を吹鍊する場合に石灰の熔材として螢石又はこれに適量の鉄鋳石を併用し脱酸材、加炭剤の使用を著しく減少し低燐、低硫黄、低炭素、低窒素の良鋼を得る方法。

特許出願公告 (昭和 29—10—23)

- 昭 29—6855 熔 鋳 炉 (中島 統一) 同人
 粉鋳供給管及バーナーを炉の基端に開口させた壺型炉体と、粉鋳加熱用の長尺焙焼筒と、還元用粉炭混合機とを環状に連結し、第 2 羽口或は第 2 次バーナーを炉の中腹部に開口させたもの。
- 昭 29—6873 塩基性冶金鋼鋳滓より合金鉄を得てカーバイド及び石灰窒素を製造する方法 (斎藤 克巳) K.K. 神戸製鋼所
 塩基性平炉鋼滓のような組成を有する鋼鋳滓に対し中空黒鉛電極を備えた密閉式電気炉を用い且つ予熱窒素を利用し炭素粉を窒素気流に伴わしめて熔融滓中に吹込み原料組成分に適應する 2 段階の還元作用を行う方法。

特許出願公告 (昭和 29—10—27)

- 昭 29—7003 鑄 型 製 造 法 (岡見 正一) K.K. 久保田鉄工所
 有機性粘結材を使用して作つた鑄型の表面にシリカゾルを主体とし之にシリカフラワー・シリマナイト粉末クロムグリッカー粉末の如き耐火物の微粉末を混合したコロイド状液を塗装する法。
- 昭 29—7004 鋼 塊 鑄 型 (石原米太郎) 同人
 断面矩形でその内法平均寸法による高さ対長辺の比を 0.5~1.05 とし、高さ対短辺の比を 1.0~2.1 とし、鑄型対鋼塊本体の重量比を 1.0~2.0 とした鋼塊鑄型。

特許出願公告 (昭和 29—11—4)

- 昭 29—7201 磁 力 選 鋳 機 (奥村 金作) 同人
 磁石を内蔵する回転胴の表面に吸着分離した不純な磁性物質中より磁性物のみを分離するよう非磁性体ローラーに植付けた鉄線へ磁性物のみを吸取り鉄線が磁場を出て磁力を失つた所に於いての撒水により純度の高い磁性鋳粉を洗い落すようにしたもの。
- 昭 29—7203 細長い円筒状鋼体の焼入法 (酒井 佐敏) 関東特殊製鋼 K.K.
 高周波誘導加熱輪と冷媒噴射装置とを組合せた焼入装置 2 組を被処理体の一端から他端まで引続いて移動させ焼入を 2 段に行う方法。(以下 1147 頁へつづく)